

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 かりん		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	活動に取り組みやすい環境にしており、事業所内は段差はなし。また各部屋のドアには部屋の用途に合わせたワッペンを貼り何の部屋かわかるようにしている。	一人ひとりや集団でのお子さんの特性を把握、評価し、それに合わせた環境を整えていく。
2	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	定期的に、施設内会議を実施し様子を共有し合っている。	引続き、定期定な施設会議を開催し、お子さんの様子や情報をスタッフ同士で共有しながら、スタッフ全員が同じ見通しで支援ができるように、計画を作成していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルはあるが、周知ができていない。	周知不足である。	玄関や、相談室にマニュアルを設置しいつでも閲覧可能な状態にしておく。また、フォローチャートを作成し、掲示する。
2	地域との連携が少ない	学校や地域とのやり取りがあまりないことから何が行えることを考えていく。	日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら連携できることを検討していく。
3			